

## ビデオ編集とDVD作成 - その1 -

会員の皆様、こんにちは！ 今月号より連載企画を担当させて頂くことになりました竹原です。何かお役に立てる記事が提供できたらと思っています。

テーマは「ビデオ編集とDVD作成」 タイトルは少し硬めですが内容は遊び心一杯です。ほんとですよ、期待して下さい。

お遊び中心とは言っても、実の狙いは仕事に活かしたり、薬剤師会の活動に役立てることが最終的な目的なんですけど、、、。お遊びだけでも結構。でも宜しければ薬剤師会用にご協力下さい。

初めてビデオを手にしたのが、かれこれ 20 年前になります。Sony のハンディーカム、家族旅行や子供の運動会の記録に利用した程度、余り活用してなかった感じです。

当時は液晶のモニターもなく小さなファインダーを覗きながら録画してましたので、運動会の 50 メートル走など子供のここぞという出番で撮影すべき対象を完全に取り違え、全然関係のない子供を撮って、後で家内に「人の子撮って何しよん！」と罵声をあびせられたものです（実は家内は仕事の都合、同じ運動会の仕事で昼食の時間だけそれもとんぼ返りで仕事に戻ってたもので、ビデオ撮りは責任重大でした）。

あの時から考えると、今のビデオカメラは撮影しやすいですね。

昨年、ご無沙汰していたビデオを 10 数年ぶりに手にすることになりました。CanonIXY を安売りで購入し、早速利用することにしました。

さて当初の目的はなんでしたでしょう？実は、遊び心でなく真面目な内容そのものです。現在、戸薬で利用していただいているグループウェアとおくすりおっくんDBの説明用DVDを作成するためのパソコンモニター録画でした。

仕事を終え、帰り際に 15 分程度内容別に録画しました。三脚にビデオカメラを設置し、パソコンに向かって説明している内容を録画し後で編集するという作業を何度もしました。余分な画面等を切り取りし

手短な長さに整理する作業です。当初はパソコンに向かって相手もないのにしゃべって録画して、何とも変な気持ちでしたが、これも仕事と思えば苦にはならず、日に日にテーマ別に録画が増えるのが楽しみにもなりました。

すべてのきっかけはこれでした。機会を与えて頂き感謝してます！話が横道に逸れてますが、お許しを、...

さてビデオを編集してDVDへと考えた時、Windowsで適当なソフトを利用して作業をと当初考えていました。ところが、DVDの編集まで通して考えると、WindowsではなくMacintoshのパソコンに実は皆さんご存知ないでしょうが、いいソフトがあるのです。それもDVDの記録が可能なMacパソコンにすでにバンドルされているソフト。

その名はiLifeシリーズ、現在の最新バージョンはiLife05。写真の管理・アルバム編集を行うiPhoto、音楽の再生、アルバム作成を行うiTunes、ビデオの編集用にiMovie、DVDの作成・編集にiDVD、これらのソフトは全てスムーズに連携しています。作曲できるソフト、GaregeBandまで付いています。

Windowsを主にご利用の方には、少し親近感に欠けるかもしれませんが。もちろんWindows用にもビデオ編集用の各種ソフトがあります。DVD作成・編集までの流れの良いソフトはさすがに皆無ではないでしょうか？私が知らないだけかもしれませんが、いずれにしてもここではiLifeシリーズを利用しますし、皆様にも是非とも利用していただきたいと思います。

最終的には全てのソフトを利用するのですが、ここでは主にビデオ編集ソフトとDVDを作成・編集するソフトを利用します。

題材はお遊び気分、門司のレトロの「地ビール工房」での一コマとします。

さて皆様に用意をして頂くものには、ビデオカメラとパソコン（ここではMac）それと付属の接続ケーブル（ビデオカメラ パソコン）これさえ有れば準備完了です。では実際に収録したビデオをパソコンに取り込む作業に入ります。次のページの写真はビデオカメラとパソ

コンを接続した様子です。

取り込み作業はパソコン側から操作できます。ビデオカメラは再生 ONになっておれば何時でも OK です。ソフトは先ほど簡単に紹介させて頂きました i Movie です。このソフトを立ち上げ、取り込みを行います。

Windows のパソコンしかお持ちのない方は、是非ともベスト電器等、Machintosh のパソコンを展示している店に足を運ばれて見てください。

パソコンと付属の接続ケーブルをビデオカメラに接続後、i Movie を起動、新規作成でビデオファイルのタイトルを付けます。ここでは戸薬会報用とします。



後はパソコン側から取り込み操作が可能となります。パソコン画面側から再生を行いながら取り込みを行うと、ビデオクリップとして右上のクリップパネルに配列されます。取り込みを断続的に行うとクリップは沢山配列されますし、自動的に場面の展開時には新しいクリップとして記録されます。実践的なことはご自分で試すのが一番理解しやすいかと思います。

またパソコン雑誌 (MacFan) などに特集や便利帳が付録で付いていますのでご利用されて下さい。門司港地ビール工房での一コマを試しに取り込んでみました。適当に取り込みを切り分けしましたので右上のクリップは複数となっています。

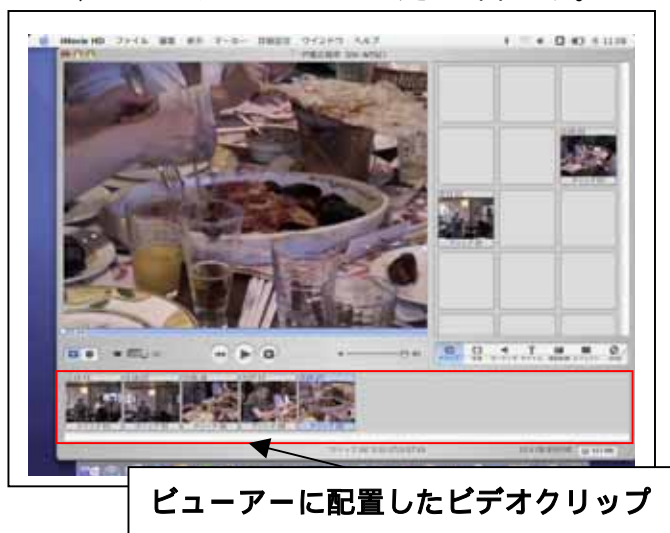
クリップの内容は外人の歌う場面と食事をしている場面、それに大皿スパゲッティのアップの映像です。

これらがビデオの素材となります。ではこのクリップを利用してビデオの編集を行いましょ。クリップパネルから必要なビデオクリップをビューアーに配置します。もちろん外部からのビデオクリップも配置可能です。



ビューアーに配置したビデオクリップは順番を入れ替えることもクリップパネルへ戻すことも、ドラッグ&ドロップで処理出来ます。

これで必要な素材はテーブルに揃いました。後は細かい編集作業(ビデオクリップの不要な映像の切り取り、雑音の消去、BGMの挿入、場面の切り替え効果等)を行えば一応ビデオの完成と



なります。

家庭用のビデオカメラで撮影をされる時に、ご注意していただきたいのは、実は昼間の野外風景や人物を撮影する場合は良好な映りですが、夜間での景色などではかなりビデオカメラの解像度の関係もあり思ったほど映りは良く有りません。

明るい室内であれば問題もないでしょうが、レストラン程度はOKただし照明の暗いスナック等では相当映像が荒く見栄えが悪くなります。高感度のビデオカメラであればこの問題は解決もするでしょうが、、、家庭用のビデオカメラでは限界があります。

ビデオで撮った際の不要な音声やノイズは編集の段階でカットで出来ますので気になされなくて大丈夫です。むしろ、効果音やBGMの選択にエネルギーを注がれたほうが宜しいかと思えます。

音楽の挿入や同時にナレーションの挿入も簡単にできます。どの位置からのナレーションの開始かなどオーディオクリップも自由に位置合わせ可能です。

お気に入りの映像に音楽を入れ、ナレーションを調整する時など再生を行い映像等がピッタシきた時にはなかなか楽しいものですよ。

ただし少し気長な性格でないと作業が進まないかもしれません。

昨年の8月頃からビデオカメラを手にし始めて、かれこれ1年になります。特別特殊な撮影が出来るわけでありませんし、センスもあるわけでもありません。ただ出来るだけ、ビデオカメラやデジタルカメラを持ち歩くと色々な場面で記録を残すことが出来ます。

先日ある仕事の関係者が10月に転勤になるとの話を聞いたもので、お世話になったお礼にお付き合いのあった1年6ヶ月間の行事の写真やビデオを編集してDVDとして差し上げました。

秘蔵のビデオとして本人がカラオケを歌っている様子や本人行きつけの店の店員さんからのお別れのメッセージを入れたものなどと若戸渡船の様子や門司港の夜景を挿入しました。北九州での思い出になればと思います。記録したもの撮影したものを作品として残しましょう！

次回へと続く